

領域別項目対照表

大学院名: 東京**大学大学院

■科目番号と項目番号

研究科名: 教育学研究科

別紙「科目番号と項目番号」を参照し、下表の科目番号項目番号欄に記入してください。

担当者名: ****

記入例 1-(1)、実1-(1)

科目名: 臨床心理学特論(I)

No.	授業スケジュール	主な内容	科目番号 項目番号	(認定委員会記入欄)
1	臨床心理学の定義及びその課題	臨床心理学の歴史、考え方、対象、課題等について概括的な講義を行う。本講義全体のガイドも兼ねる。		
2	臨床心理学的アプローチ	精神分析的アプローチ、行動主義的アプローチ、人間性心理学的アプローチ等、臨床心理学の主だったアプローチについて解説する。	4-(3)	
3	子どもの発達と臨床的働きかけ	子どもへの臨床的働きかけと大人への働きかけの相違、発達の諸相と問題行動、問題行動理解の方法等について解説する。	4-(1)	
4	臨床的アセスメント(I)	発達と能力のアセスメント、心理アセスメントの歴史と発展、心理検査の実際等について事例に即して解説する。	4-(2)	
5	臨床的アセスメント(II)	行動とパーソナリティのアセスメント、行動観察、性格検査の実際、アセスメントの留意点などについて事例の即して解説する。	4-(2)	
6	臨床心理学の対象(I)	臨床心理学の対象を理解するための枠組みとしてのDSM-IVについて解説する。外面化する問題について解説する。	4-(2)	
7	臨床心理学の対象(II)	第6回目に引き続き、内面化する問題を中心に解説する。	4-(2)	
8	学校生活と臨床的働きかけ(I)	不登校・いじめ・緘黙など小・中学校に出現する問題を中心に解説する。	4-(4)	
9	学校生活と臨床的働きかけ(II)	校内暴力・学級崩壊、非行など小学校高学年から中学・高等学校に出現する問題を中心に解説する。	4-(4)	
10	スクールカウンセリング(I)	スクールカウンセラー制度について解説し、スクールカウンセラーの任務と学校における連携の仕方について考える。	4-(5)	
11	スクールカウンセリング(II)	学校を支援するさまざまなリソースについて考えるとともに、そうしたリソースとの連携の在り方について考える。	4-(5)	
12	臨床心理学の最近の動き(I)	第2回目の講義を発展させる形で、昨今、著しい展開を見せる認知行動療法について、その特徴について解説する。		
13	臨床心理学の最近の動き(II)	特別支援教育の実施に伴い、通常の学級での発達障害の問題への取り組みが求められており、この点について解説する。		
14	臨床心理学の最近の動き(III)	臨床心理学は問題が深刻になってからの「治療」的な意味合いがつかっていたが、予防的な観点から心の健康について解説する。		
15	臨床心理学の最近の動き(IV)	臨床心理学の最近の展開について、先進諸外国の昨今の状況について解説する。		

※ シラバスを添付してください。

H22年度 東京**大学大学院（修士課程）授業科目シラバス

科目名 : 臨床心理学特論 I

担当教員 : ****

対象学年 : 全学年

開講学期 : 秋学期

曜日・次元 : 月曜日・5 時限

ねらいと目標 :

この授業では、臨床心理学の理論（アプローチ）、臨床心理学的アセスメント、対象とする問題、臨床心理学の学校での展開等について解説をしてゆく。こうした講義を通して、臨床心理学的な考え方、取り分け、学校場面での展開についての知見を広めることを目的としている。最後には、最近の動向として、認知行動療法、特別支援教育、健康心理学等についても解説をする。

内容 :

本講義では、以下の5つの内容について講義形式の授業を行ってゆく。すなわち、(1) 臨床心理学の歴史、基本的な考え方、臨床心理学的なアプローチについて。(2) 臨床心理学的アセスメントについて。(3) 臨床心理学の対象について。(4) 学校生活に関して現れる問題とスクールカウンセラーの任務について。(5) 最近の動向、の5つである。

テキスト

特に使用しない。随時、関連する資料を配布する。

参考文献

その都度、紹介する。

成績評価

授業への出席状況、レポート等の提出状況、最終試験等を総合して評価する。

授業スケジュール

(1) 臨床心理学の定義と課題、(2) 臨床心理学的アプローチ、(3) 子どもの発達と臨床的働きかけ、(4) 臨床的アセスメント I、(5) 臨床的アセスメント II、(6) 臨床心理学の対象 I、(7) 臨床心理学の対象 II、(8) 学校生活と臨床的働きかけ I、(9) 学校生活と臨床的働きかけ II、(10) スクールカウンセリング I、(11) スクールカウンセリング II、(12) 臨床心理学の最近の動き I、(13) 臨床心理学の最近の動き II、(14) 臨床心理学の最近の動き III、(15) 臨床心理学の最近の動き IV